

異常が生じた時

異常内容	点検事項	対処法	注意
ポンプが動かない	電源プラグの抜けやガタツキはありませんか。	電源プラグを確実に取り付けてください。	
	本体が高温になっていませんか。	温度制御が働いた可能性があります。本体が冷え運転復帰するか確認してください。	
	ブレーカー(漏電遮断機)が動いていませんか。	ブレーカを ON にしてください。	
	電源コードの断線。	テスタ等で導通をチェックして断線部品の交換修理してください。	●
ポンプが動いているがエアーが出ない	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルタの清掃または交換をしてください。	●
	チャンパブロックが破損していませんか。	チャンパブロックを交換してください。	●
	Lチューブの抜け、または破損がありませんか。	Lチューブを差し込む、または交換してください。	●
	浄化槽の散気管が目詰まりしていませんか。	吐出圧力のチェック及び散気管の清掃をしてください。	●
音が大きい	ストッパバルブが締められていませんか。	ストッパバルブを開いてください。	●
	チャンパブロックが破損していませんか。	チャンパブロックを交換してください。	●
	パッキンの外れ、フィルターカバーが浮き上がっていませんか。	パッキン・フィルター・フィルターカバーを確実に取り付けてください。	
	コンクリートベースとポンプの間にガタツキはありませんか。	ガタツキを直してください。	●
	配管やホースの外れがありませんか。	正常に配管・ホースを取り付けてください。	●

注意欄に●印のある対処法については、ポンプの修理及び浄化槽の維持管理がともないます。保守・維持管理業者様にて実施いただけますよう宜しくお願い致します。
 対処をしてもなお不具合が改善されない場合は、直ちに電源プラグを抜き使用を中止ください。

消耗品 ※ご自身で交換いただくことができます。

- フィルター × 1枚
- パッキン × 2枚 (NIP-30L・NIP-40Lのみ)

交換部品 ※販売店または保守・維持管理業者様にご依頼ください。

- チャンパブロックセット
 (1台分の部品構成：ケーシングブロック × 2・ダイアフラム × 2・Lチューブ × 2)

- ロッド × 1個 (NIP-40L・NIP-60Lのみ)

仕様

品番	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	定格圧力(MPa) (kgf/cm ²)	風量(L/min)	騒音(dB)	重量(kg)	寸法(mm) 計出寸 幅×高さ×長さ
NIP-30L	100	50/60	33	0.012 (0.12)	30	35	4.1	156×193×200
NIP-40L			40	0.012 (0.12)	40	36	5.0	175×205×225
NIP-60L			60/48	0.012 (0.12)	60	39	6.5	185×183×210

電源ケーブル長さ1.5m 消費電力や風量は常用圧力代表値です。保証値ではありません。

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店よりかならず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年です。保証書の記載の規定に従い修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理については販売店またはご契約された保守・維持管理事業者様にご相談ください。日本電興㈱から補修用性能部品を供給します。
- ④ポンプの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店か本書に記載の日本電興㈱へお問い合わせください。

修理メモ

電磁式エアーポンプ 保証書

形名	□NIP-30L、□NIP-40L、□NIP-60L		
無償修理保証期間	お買い上げ年月日： 年 月 日より1年間(本体)		
お客様	ご芳名	様 TEL	
	ご住所	〒	
販売店	店名	TEL	
	住所	印	

本書は本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。上記「無償修理保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちに買い上げの販売店へお申し出ください。

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

<無償修理規定>

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店が無償修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります日本電興㈱各販売店へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次のような場合には原則として有償となりますのでご了承ください。
 (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障及び損傷。
 (ロ) お買い上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用の使用・車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 (ホ) 本書のご提示がない場合。
 (ヘ) 本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 (ト) 取扱説明書で禁止されている設置をされた場合。
 (チ) 施工上・維持管理上の不備による故障及び損傷。
4. 本製品の不具合による他の部分の不具合等につきましては保証致しかねます。
5. 本書は日本国内のみ有効です。

※この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

日本電興株式会社 〒486-0912 愛知県春日井市高山町2丁目31-5
 TEL 0568 (34) 6688 (代)

電磁式エアーポンプ 単独槽、吐出専用タイプ 合併槽・逆洗式には使用できません。



取扱説明書(保証書付)

このたびは、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
 この取扱説明書には、本製品を安全に正しくご使用いただくための注意事項などを記載しております。

ご使用になる前に この取扱説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 ※エアーポンプは維持管理が必要です。専門の保守・維持管理業者と管理契約されるようお勧めします。

浄化槽でご使用いただく場合
 浄化槽で使用されるエアーポンプにつきましては、常に適正な条件の下で正しく使用し、定期的な点検や部品の交換を行い、万一故障等の不具合があれば迅速な処理を行うといった維持管理が充分行われることが必要です。又、エアーポンプのみならず浄化槽の全てにわたり整備点検する事が義務付けられています。

※ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の大きさと切迫の程度を、次の表示で区分し説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味	禁止行為であることを告げるもので、近傍に具体的な内容を説明しています。	行為を強制したり指示をするもので、近傍に具体的な内容を説明しています。
--------	-------------------------------------	-------------------------------------

各部の名称	NIP-30L NIP-40L	NIP-60L
付属品(各機種共通) ・ホースバンド × 2		
・ホース × 1 長さ 180mm 内径 φ15mm		
・L型ホース × 1 寸法図(mm)		

〈安全上のご注意〉

エアーポンプを正しく取り付け安全にお使いいただくために、つぎのことを必ずお守りください。

警告	⊘ 修理技術者以外の方は、分解・改造は絶対にしないでください。重大事故のおそれがあります。
	⊘ 指定電源 (AC100V 50/60Hz) 以外で使用しないでください。
	⊘ 故障の原因や事故のおそれがあります。
	⊘ お手入れは電源プラグを抜き本体が冷えた状態で行ってください。
注意	⊘ 電源コードはプラグをもって抜き差ししてください。発熱・発火の原因になります。
	⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

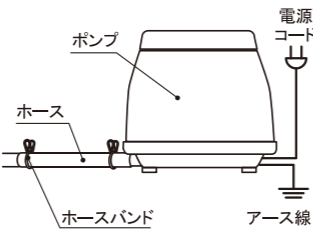
注意	⊘ 電源コードの上にもものを置いたり、踏んだりしないでください。漏電のおそれがあります。
	⊘ 水道水など水、または油類をかけないでください。ショート・故障の原因になります。

施工方法

注意	⚠️ ポンプには必ず第3種アース工事をしてください。
	⚠️ 日光の直接あたる場所に設置はしないでください。故障の原因になります。
	⚠️ 建物より 20cm 以上離してください。騒音・振動の原因になります。
	⊘ ポンプは使用箇所の水位よりも低い位置に設置しないでください。サイフォン現象により水が逆流し、漏電・感電のおそれがあります。
	⚠️ 直接雨などがあたらない場所・積雪しない場所に設置してください。故障・漏電のおそれがあります。
	⚠️ ポンプの設置は風通しのよい場所にしてください。故障の原因になります。
	⊘ ポンプの近くにもものを置かないでください。異音・異常振動の原因になります。
	⊘ ポンプの周囲を囲わないでください。放熱を妨げ故障の原因になります。
	⊘ ポンプの吐出する空気には、モーター特有の臭いが含まれます。臭いが気になる場所には設置しないでください。
	⊘ 換気扇の下など油分を吸い込む可能性のある場所には設置しないでください。
⊘ 運転音の気になる場所や、日常生活を妨げる場所には設置しないでください。	

警告	⊘ 本体付近に可燃物や可燃性のガスを置かないでください。火災の原因になります。
-----------	---

- 第3種アース工事を必ず行ってください。アース取付場所：Ⓧマーク側近のネジ（電源コード付近）
- ポンプの電源は、防水型コンセントをご使用ください。
- 必ず水平に設置するようにしてください。（傾き角度 10 度以内）
- 振動が伝わらないようコンクリートベースを使用して、建物より 20cm 以上離してください。また水面より下に置かないでください。
- ポンプと配管をホースでつなぎ、ホースバンドで吐出する空気が漏れないように確実に接続してください。
- 配管は出来るだけ短く（10m 以下目安）、直線的に配管してください。
- 電線の一次側にはブレーカー（漏電遮断機）を取り付けてください。



試運転

- 設置完了後、次の内容を確認してください。
- 配管途中にストップバルブがある場合は、バルブが開いているか確認してください。
 - 浄化槽内に規定水位まで水張りされていますか。
 - アース線を取り付けていますか。
 - 電源プラグが差し込んであり、正常にばっ気していますか。
 - ポンプから異常音または異常な振動が出ていませんか。
 - 使用圧力（浄化槽とポンプ間の圧力）は、ポンプの定格圧力になっていますか。

注意	⚠️ 圧力がゼロの状態（無負荷）、または異常に高い状態で運転を続けると、ダイヤフラムや吸入弁・吐出弁の寿命が短くなり早期に破損します。
-----------	---

お手入れのしかた

警告	⊘ お手入れは電源プラグを抜き本体が冷えた状態で行ってください。
	⊘ 電源コードはプラグをもって抜き差ししてください。発熱・発火の原因になります。
	⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

- 本体は、中性洗剤に浸した布をかたく絞って汚れを拭き取り、乾拭きしてください。
- 電源プラグにほこりが付着していないか点検し、ほこりを乾いたブラシなどで除去してください。

フィルターの清掃 4ヶ月毎に清掃または交換

- フィルターカバーを外してください。中にフィルターが入っていますので外して、清掃してください。※フィルター清掃を怠ると、ポンプに空気が流れなくなり吐出量が不足します。ダイヤフラムや吸入弁・吐出弁などの寿命を早め破損しやすくなり故障の原因になります。

パッキンの取替え方法 NIP-30L, NIP-40L のみ

- フィルターカバーを外し、裏側に付いているパッキンを手前に引いて取り外してください。
- 新しいパッキンに交換してフィルターカバーを取り付けてください。

注意	⚠️ 本体に水をかけたりしないでください。故障の原因になります。
-----------	----------------------------------

維持管理

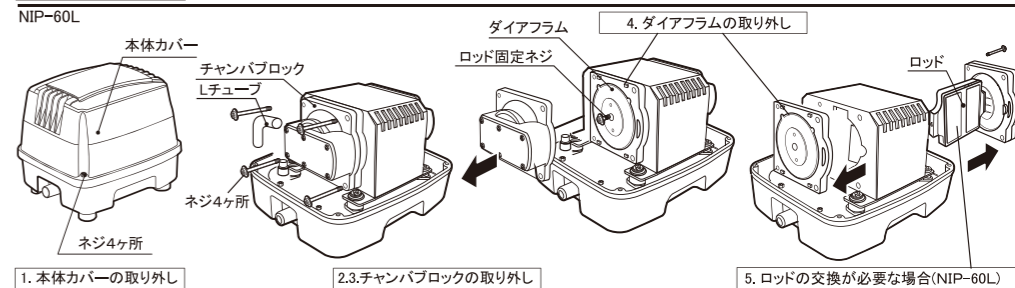
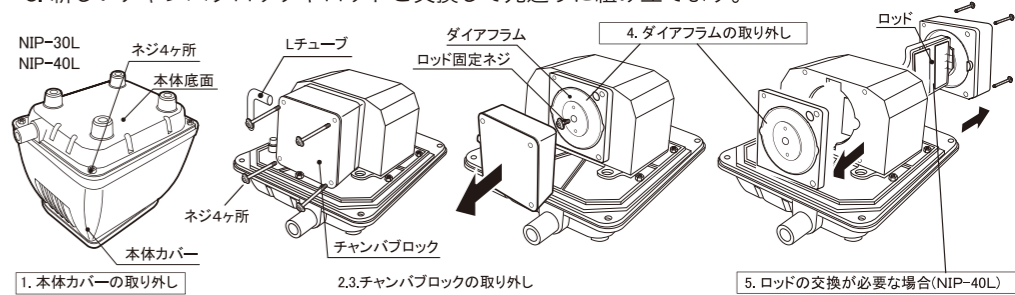
- 浄化槽の維持をするために、次の内容を実施してください。
- 電源コード・プラグの確認。（破損・異常発熱・設置状態の確認）
 - ポンプと周囲の確認。（破損・異常発熱等の確認、音や振動の異常、動作の妨げがないか）
 - 圧力の確認。（浄化槽の汚泥が溜まってないか、散気管の目詰まりがないか、バルブは適正か）
 - フィルター清掃または交換。（4 か月毎）
 - チャンバブロック・Lチューブ（1年～1年半毎）の交換。ロッド（破損がある場合）の交換。

注意	⚠️ 点検や交換作業は専門の保守・維持管理業者にご依頼ください。
	⚠️ 作業をするときは、必ず電源プラグを抜いて本体が冷えてから行ってください。
	⊘ 本体カバーを外した状態で電源を入れしないでください。感電のおそれがあります。
	⊘ 水や油をかけないようにしてください。故障・事故のおそれがあります。
	⚠️ 本体カバーを取り付ける場合は、内部の電線を挟まないように気をつけてください。断線や漏電、感電のおそれがあります。
	⚠️ 作業後は、アース線を取り付けてください。
	⚠️ ポンプは指定された期限内での清掃・部品交換を行ってください。負荷が多かかりますとより発熱し故障の原因になります。
	⚠️ 電源ケーブルの異常の有無の確認及びプラグの清掃を行ってください。プラグにほこりが付着、電源ケーブルに傷等があると発火・発煙及び漏電のおそれがあります。

チャンバブロックとロッドの交換方法

コンセントから電源プラグを抜いてください。
※ロッドの（永久磁石の）損傷を防ぐため、チャンバブロックやダイヤフラム等の交換は、片側の交換が完了してから反対側を同じように交換してください。

1. 本体カバーの取付ネジ 4 本を緩め、ポンプの本体カバーを外します。（下図参照）
2. 片側の L チューブを引き抜き、チャンバブロックの 4 本のネジを緩めます。
3. チャンバブロックをあけて、ダイヤフラム中央のロッド固定ネジを緩めます。
4. ダイヤフラムを枠ごと外します。
5. ロッドの交換が必要な場合は、この段階で反対側のチャンバブロックも外してください。2の手順でチャンバブロックごとロッドが抜き取れます。
6. 新しいチャンバブロックやロッドと交換して元通りに組み立てます。



※交換部品は定期的（1年～1年半毎）に交換してください。吐出バランスが悪くならないようにチャンバブロック、Lチューブは必ず左右同時期に取り替えてください。これらのお手入れを怠ると、ポンプが短時間で故障し浄化槽の機能低下の原因になります。